

特別会計

下水道

地方公営企業法
適用に向けて

竹田委員 下水道事業の令和6年度からの地方公営企業法適用に向けて、令和5年度はどう取り組むのか。

当局 資産評価により資産額の決定を行い、それに基づき固定資産の管理システムの構築を行っていく。また官公庁会計から企業会計による予算編成となり、新たな財務諸表の作成も進めていく。

介護保険

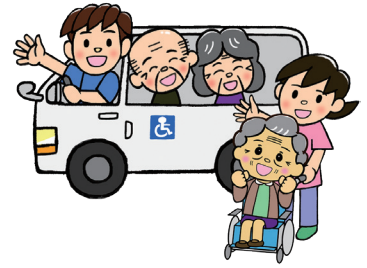
デイサービス統合の影響

竹田委員 白光園デイサービスとはぴーデイサービスが、昨年10月に統合になった。介護サービスに影響はないか。

当局 1日平均約40名であり、問題なく対応できている。フロアや風呂も快適になり、楽しく過ごされていると伺っている。

竹田委員 要介護、要支援の方々へのニーズに合わせて、迅速に的確に利用できるのか。

当局 町民のニーズに關しては、地域包括支援センターと介護保険係が連携し、的確なサービスにつなげていく。独居高齢者や高齢者のみ世帯の方々のニーズにも応えながら、サービス提供に努めていく。



公営企業会計

町立病院

人間ドック1日
コースの再開は

笹原委員 人間ドックの1日コースの再開はいつになるか。

当局 発熱外来を令和5年度も維持していく必要があるため、1日コースの実施は難しい。

令和5年度一般会計予算

賛成討論

新事業に期待

子育て政策では、相談機能の充実を図るため「伴走型相談支援」を行う。きめ細やかな取り組みを望む。

企業の人手不足と多様な働き方に対応するため、「地域人材ベースキャンプ」が設立される。前例のない事業だが、先進地域を参考に、効果ある取り組みになるよう期待する。

林業分野では、航空レーザ測量が実施される。森林資源の活用が進むことを評価する。

環境対策に關し、さまざまな計画が立てられるが、何より大事なことは町民が「自分ごと」として取り組めるかだ。

環境マイレージなどの取り組みに期待する。

若者定住の施策、町民の利便性へデジタル化の取り組みに期待し、賛成討論とする。



笹原 俊一 議員



反対討論はありませんでした。